



新里中だより

期末テストも終わり、1学期も残りあと3週間となりました。夏休みに向けて、もう一度自分自身の生活を振り返り、身を引き締めて過ごしましょう。

(文責)校長 阿久津 泰

2年生 田植え

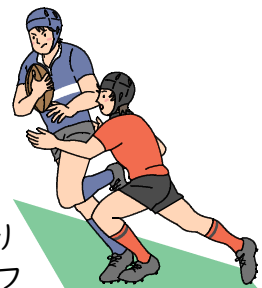
6月18日(木)、2年生は学校の南面にある田んぼで田植えを行いました。この行事は新里中の伝統行事となっており、秋には実った稲穂を自分たちで刈り取る作業に取り組みます。収穫した餅米は、2月2日(火)に行われる立春式を祝う赤飯用に使われます。

当日は、地元農家の小池寛明さんにご指導していただきました。2年生たちも、最初は戸惑いつつも、いざ田植えが始まると、隣の生徒と植え方や位置を確認しながら、集中して苗を植える姿が見られました。秋には豊かに実った稲を刈り取れることを祈っています。



5月の全校集会講話 「ラグビーから学ぶこと」より

ラグビーは、激しいコンタクトがあり、けがのリスクも大きい競技です。だから仲間との協力・信頼、助け合いが重要になります。また、体が大きい人、足が速い人、手先が器用な人、元気な人、など、その人に合ったポジションが用意されています。大谷翔平選手のように全て万能な人は、めったにいません。だから、自分が得意な役割を責任をもって果たし、苦手な分野は得意な人に任せることで成り立つ部分があります。試合に出ずとも、声で仲間を応援したり、ハーフタイムに水を運んだりするなど、サポート面で重要な役割を果たすこともできます。



私たちが生きる社会においても、同じ事が言えるのではないのでしょうか。誰もが持っている得意・不得意は個性です。そして誰一人として、自分の代わりを務められる人はいません。まずは自分の存在価値や役割にプライドを持ち、自分とは違う個性を持つ他人を認め、必要に応じて助け合う関係性を築くことが大切です。無責任に人に任せるのではなく、足りない部分を補い合いながら「共生の精神」を養ってほしいと思います。